

TTDFへ行こう!

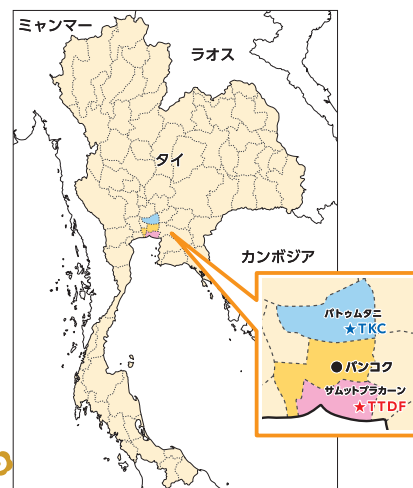
タイ・テキスタイル・デベロップメント・アンド・フィニッシング（TTDF）は1991年12月に操業を開始。2021年12月に操業30周年を迎えます。

工場・事務所は、タイの首都バンコクから南に約35km（車で約1時間程度）のサムットプラカーン県にあります。従業員は約250人で、綿および綿合繊混紡素材の連続染色加工や、晒、先染織物の整理加工を行っています。

主にカジュアルならびにユニフォーム用途の中厚地織物を加工しており、繊維事業部のASEAN展開において重要な拠点となっています。近県にはグループ会社であるタイクラボウ（TKC）の工場もあり、タイ国内で紡織加工一貫生産ができる強みを持っています。



30年の伝統を感じるオフィス正門



祠（サーン）

タイには 建物を建てる際に守護神の魂や神の使いが宿するための場所として祠をつくる風習があります。祠があることで、幸福と繁栄を得られるという考えが浸透しています。



安全第一で
操業しています



サステイナブルで環境に配慮した生産に取り組んでおり、生機に使用されるPVA（ポリビニルアルコール）糊を除去し回収する装置を組み入れた排水処理システムや苛性ソーダ回収装置を活用しています。また、社会貢献活動の一環として清掃活動や植樹、寺院・学校等へ生地への寄付も行っています。



環境配慮設備



PVAリカバリーシステム

晒工程で除去したPVAを回収しています。回収したPVAの一部をTKCで再利用しています。



苛性ソーダ回収装置

晒工程で使用した苛性ソーダを回収し、濃縮後に再利用しています。



排水処理システム

工場排水を自社の排水処理システムで処理しています。

社会貢献活動



近隣海岸の清掃活動



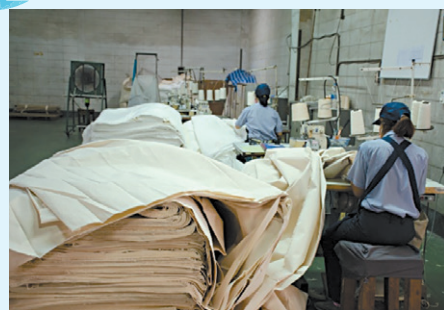
絞り染め布製バックの
作成方法を実演



寺院に生地を寄付

生産工程

1 準備



TKCなどから搬入された生機をミシンで縫い合わせます。

2 晒



生機に含まれる不要な成分を取り除きます。また、高濃度の苛性ソーダに浸けることで、染色性・寸法安定性が向上します。

3 染色



素材によって最適な染料や染色方法を選択して、目標の色に染色します。

4 仕上



薬剤を使用して、お客さまが要望する風合いや機能を付与します。

5 検反



仕上加工あがりの生地を全量目視検査します。検査後の生地はロール状に巻き取り出荷します。